

あなたの一步が地球環境を変える!

掛川市 生ごみ処理容器「キエーロ」に取り組んでみませんか?

失敗しないための4つのポイント

準備ができたなら、さあ、始めましょう!!

キエーロを上手に使うための大切な4つのポイントです。

台所がきれいになるよ! ごみ袋が臭わないよ! 災害時にも使えるよ!



1 深さ20cmぐらいの穴を掘る



20cmぐらいの穴が最もバクテリアの働きが良い深さです。

2 生ごみを入れる



フタ付き容器にためて3~4日に1回を目安に入れます。

3 生ごみと土をシャベルでザクザク混ぜる



土を握ったら泥だんごが作れるぐらい、水を加えてください。この作業が大切で、ザクザクやるほど分解が進みます。

4 乾いた土をたっぷりかけてフタをする



最後に、乾いた土で穴を埋め戻します。表面の土が湿っていると、臭いで虫の呼び寄せの原因に。表面の土は、乾いた状態を保ってください。

市では、会合等でキエーロを紹介させて頂ける場を募集しています。所要時間は10分程度。どんな会合でも結構です。ぜひ環境政策課まで情報をお寄せください。

お問合せ 環境政策課 ごみ減量推進係 TEL21-1145 (土日祝日・年末年始を除く午前9時から午後4時まで)



1 燃えるごみに入っている 生ごみを減らす

生ごみ処理容器で処理する

~バクテリアが生ごみを分解するので、電気代はゼロでエコ~

お問い合わせ
環境政策課ごみ減量推進係
TEL: 21-1145

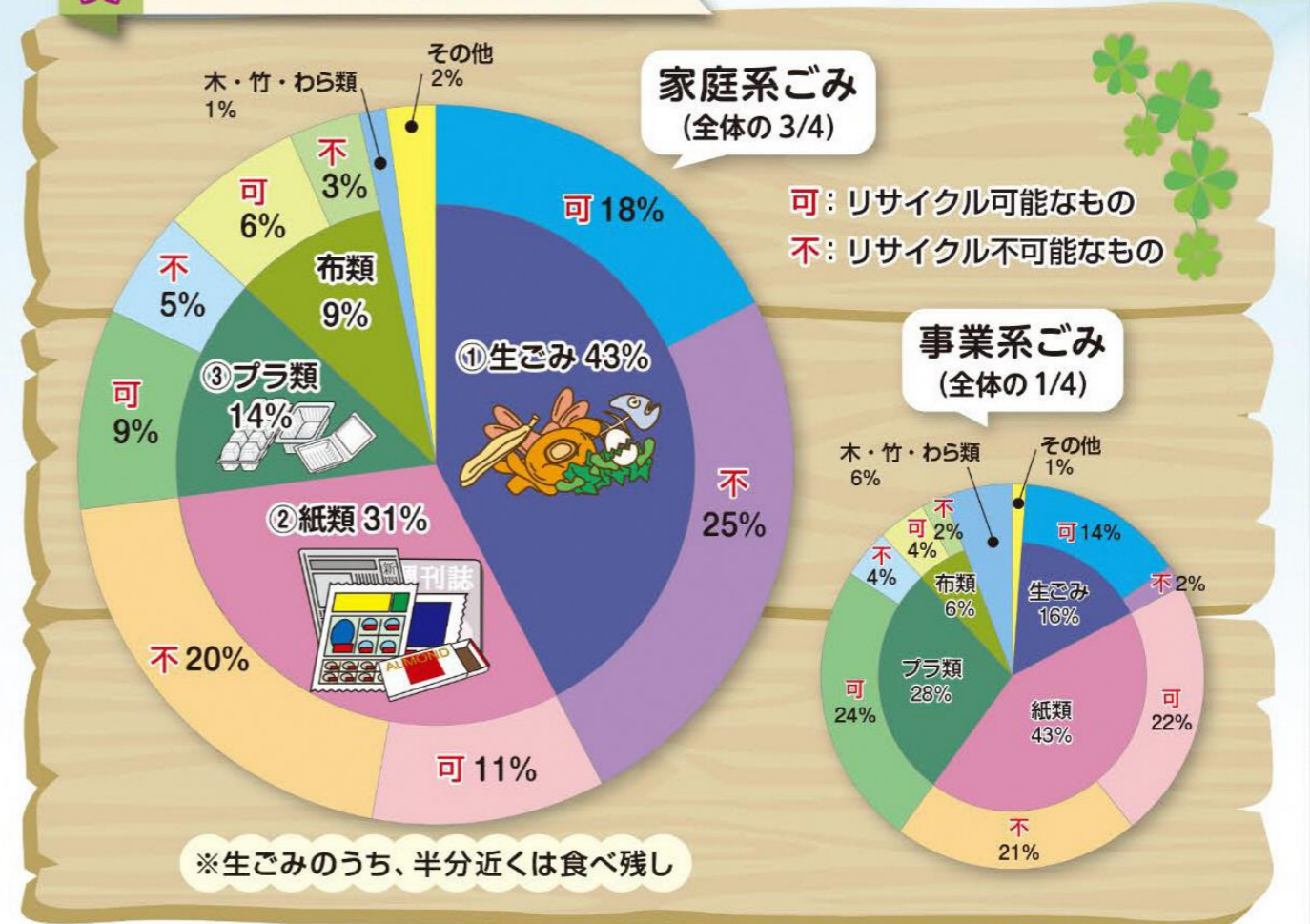
掛川市生ごみ処理容器「キエーロ」

キエーロの5つの特徴

1. 土(バクテリア)、日光の力で生ごみを分解。
2. 臭いが気にならない。虫がわきにくい。
3. 置き場はある程度風がとおり直射日光の当たる場所。
4. 夏は5日ほど、冬は2週間ほどで生ごみ消滅。水切りが不要。
5. 1日の処理能力の目安は、約500g。



掛川市の「燃えるごみ」の内訳



ベランダでキエーロのつくり方

1 用意するもの 寸法は参考の数字です。場所に応じてサイズを変更してください。

本体用材料

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| (1) 板 (厚さ1.5cm) | (2) 角材 (3.5cm×4.5cm) |
| ① 長さ81cm×幅9cm 6枚 | ① 長さ66cm 2本 |
| ② 長さ81cm×幅9cm 7枚 | ② 長さ75cm 2本 |
| ③ 長さ56cm×幅9cm 12枚 | ③ 長さ72cm 2本 |
| ④ 長さ53cm×幅9cm 9枚 | ④ 長さ46cm 2本 |
| | ⑤ 長さ15cm 1本 |
| | ⑥ 止用ネジ又は釘 (35~48mm) 170本程度 |

フタ用材料

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| (1) 角材 (3.5cm×4.5cm) | (2) ポリカ波板 |
| ① 長さ84cm 2本 | ① 長さ60cm×幅66cm 2枚 |
| ② 長さ75cm 1本 | ② 波板固定用釘 30本程度 |
| ③ 長さ47cm 2本 | |
| ④ 長さ10cm (取っ手) 1本 | |
| ⑤ 止用ネジ又は釘 (35~48mm) 30本程度 | |
| ⑥ フタ固定用蝶番 2個 (固定ネジ 必要数) | |

2 作製の手順

(1) キエーロ前面を作製



本体用材料(1)板①と(2)角材①と③をネジで固定。

(2) キエーロ後面を作製



本体用材料(1)板②と(2)角材②と③をネジで固定。

(3) 前面と後面を立てて側面板を固定



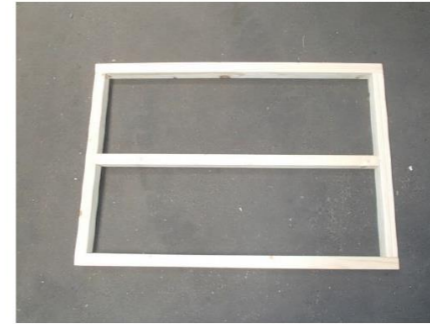
本体用材料(1)板③で固定

(4) 側面下部に本体用材料(2)角材④を固定



※仮止めをして、ゆがみを直してから固定してください。

(5) フタを作製



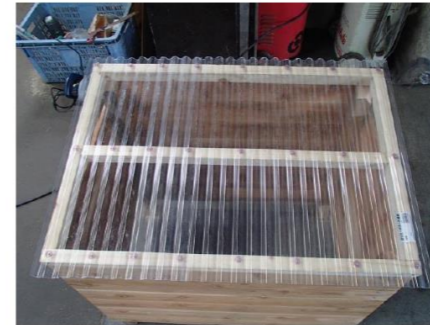
フタ用材料(1)角材①と②と③をネジで固定。

(6) 本体上部後面にフタを蝶番で固定



フタを蝶番2個で固定。

(7) 屋根を固定



ポリカ波板の凸部を固定用釘で固定。

(8) 本体に底板を固定



本体用材料(1)板④をネジで固定。

(9) フタが開き過ぎないように角材を固定



本体用材料(2)角材⑤をネジで固定

(10) フタ前面に取っ手を固定



フタ用材料(1)角材④をネジで固定

(11) 完成



- ・日当たりと風通しの良いベランダ等に置いて使用してください。
- ・本体とフタの間は、風通し用の隙間です。
- ・黒土150ℓを入れて使用してください。
- ・生ごみは20cm~30cm掘った穴に入れて、スコップで切るように混ぜてください。
- ・掘る場所は6ヶ所程度とし、毎日ずらして、生ごみを処理してください。
- ・強風対策として必要により、フタをフック等で固定してください。